



仲間と共に

学校目標「めあてをもち 仲間と共に やりぬく心」

令和7年7月18日

日々の何気ない生活に「ありがとう」と思う

校長 石田耕太郎

連日の猛暑、意図しないゲリラ豪雨に脅かされた7月が終わり、40日間の夏休みが始まりました。夏休みを迎えるにあたり、全校児童全員が元気に迎えられたことを大変嬉しく思うとともに、保護者の皆様、地域の皆様の見守りに感謝申し上げます。また、令和6年度本校の児童が無事故であったことを、先日岐阜北警察署長より表彰していただきました。改めて、「命を守る」ことへのご支援に対しまして、誠にありがとうございました。

さて、今年は昭和100年かつ戦後80年の節目の年となります。私自身戦争を知らない世代でありますし、80歳をこえた父母も物心つく前に戦争が終わった世代ですので、今となっては戦争を体験した祖父母に当時のことを聴くことも叶いません。時間の流れの中で、徐々に先の戦争の記憶が薄れてしまっていることに危惧しております。そのような中、学校では7月9日(水)に3年生以上が、昭和20年のこの日に岐阜市を襲った「岐阜空襲」について、岐阜市が作成した動画を視聴し、子ども達が視聴して感じた、それぞれの思いを語り合いました。決して忘れてはならない、決して過去のものにしてはならない事実として、学んだ子ども達が平和な世界を追求して欲しいと、心から願いました。子ども達が視聴した動画のURLとQRコードを以下に記載しておきます。

<https://www.city.gifu.lg.jp/mirai/library/1029283/1033384.html>

戦後80年を迎えた今夏、改めて平和の尊さを自分事として考えてみてはいかがでしょうか。



先日、3年生の児童から「校長先生、ありがとうございました」と一冊の本を手渡されました。谷川俊太郎さんの詩が百数十篇掲載されている本でした。小学校6年生の国語の教科書に谷川さんの「生きる」という詩が掲載されており、児童とそのことを話題にして話しているとき、「谷川さんの詩を読んでみたい」とのリクエストに私の持っていた本を貸したものでした。

「心に残った詩はあった？」と聴くと、「漢字が難しくて、読むのに苦労した。だけど、『ありがとうの深度』という詩が良かった」と答えました。改めて、そのページをめくり読んでみると、きっと最後の4行に児童の心が動かされたのではないかと思います。そして、その部分に心が動かされる感性がみんなの心に広がれば、平和な世界に一步近づくのではないかと思います。そう思わせてくれたあなたに、「ありがとう」の気持ちを伝えたい。

昨年に続いて2回目となる三輪中学校区3校合同「星を観る会」を以下のとおり実施します。岐阜市内でも有数の天体観望の最適地である「ふるさと三輪」。夜、頭上を「みわ」たせば満天の星が広がっています。ぜひ、宇宙の中にある奇跡の星「地球」。命溢れる星「地球」に私たちは生きていることを、星空を見ることを通して、感じて欲しいと願っております。ぜひ、ご参加ください。

★ ★ ★ ★ ★ 「ふるさと三輪から夏の星を観る会」のご案内 ★ ★ ★ ★ ★

期 日：令和7年8月22日(金) 19:30～21:00 (雨天・曇天時は中止)

場 所：ぎふファミリーパーク芝生広場 (ファミリーパークの駐車場をご利用ください)

内 容：天体望遠鏡で夏の星(織姫星・彦星・夏の大三角等)を観望します。

その他：夜間の活動のため、必ずお子さんは保護者と一緒に参加ください。開催時間内は自由に観望してください。なお、中止の際は18時頃スマート連絡帳にて配信します。